

三面美容の実証

～真の健康美を楽しむ人生を～

「三面美容の実証」

～真の健康美を楽しむ人生を！～

真の健康美は、三面美(外面・内面・精神面)から生まれます。西洋と東洋の良い面を取り入れ、いかに満足感ある健康美を実現できるか、30年余りの実証データを蓄積してきました。

個人差のある感性の満足感は客観的に認められにくいので、外観検診により健康的美肌の基本などが整っている状態を目安に、三面美容の成果を確認しています。

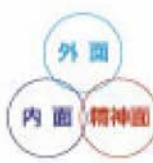
心体美的観点から、朝の洗顔でフレッシュな顔を感じ取れない人は、消極的な一日を過ごす事が多くなります。「お顔は内臓の鏡」—自己の心体美に自信を失って、美に対するコンプレックスを持つ人の増加が危惧されています。

性別、年齢に関係なく健人と同様に美を楽しむ人生が送れる事を願い、「健康と美」をテーマに、医学・薬学・栄養学・心理学の専門家の協力のもと、顧客と施術者が共同体となり、数々の実証データを積み重ねてきました。

様々な苦しみの体験から博愛の精神と同じ苦しみをもつ人のために役立ちたいと思う尊い心が生まれました。そして施術者との深い絆が結ばれ、実証例を公開できるまでに至っています。自己の苦しみを乗り越えて他人を慈しむ精神こそ美の原点であります。

弊社の教育部門「愛雅軒エスティック専門学院」では、三面美容が実践にて実証できるよう配慮しています。

安全と安心を念頭に、限られた条件と環境のもと顧客により高い満足感を提供し、信頼から尊敬を得られる優秀な施術者を育成する事こそ、社会のニーズに貢献できる事と信じています。

- 
- 外面美
 - 健康な素肌美創りを維持
 - 皮膚生理を阻害しないホームケアの重要性
 - 合成界面活性剤、紫外線吸収剤、合成香料、合成色素、ミネラルオイル、BG、エタノールなどを排除したスキンケアの完成
 - 内面美
 - 当たり前のことを当たり前にできる大切さ
 - 伏食、快眠、快便の恒常性
 - 五大栄養素を食す樂しみ
 - 精神美
 - 週期的なストレス回復と自律神経の安定
 - 施術者の「思いやり」と「根気」

結論

「健康と美」は三面美容(内面・外面・精神面)の健康な素肌美創りにて実証されました。顧客の肌の状態や生活環境には個人差がありますが、心・体・美の恒常性を保つために「当たり前の事が当たり前」として行えるように、施術者が手当てや会話などを通して、真心と手間暇をかけることで顧客自らが健康と美意識への関心を高める事ができるようになり、21世紀の高齢社会にも役立つと考えます。

◎ 外面美…香粧品学＆美容法

健康な素肌美は皮膚生理を阻害しないスキンケアで

一般的に外面美の楽しみは、ヘア・メイク・ファッショ・ネイルなどの粧飾美容の事を言います。またスキンケア科学などでは、老化防止策として、肌を傷つける要因である紫外線、酸化、ストレス、乾燥、汚れなどが、専門家による資料データでもって詳しく解説され、知識として一般に広まっていますが、ここでは健康な素肌美を実践にて実現する事を重点的に考えてまいります。

皮膚生理に配慮した美肌創りがテーマ

健康な素肌美(潤い、滑らかさ、張り、弾力、血行)を創り維持するためには、正しい香粧品学の知識を学び、施術にて基剤使用効果を高める事が重要となります。顧客のスキンケア使用回数は、施術者の基剤使用回数の数倍(少なくとも一日二回以上)になり、正しいホームケアの指導の重要性が高くなります。そこで皮膚生理(保護作用、呼吸作用、吸収作用、分泌排泄作用、貯蔵作用、体温調節作用、再生作用、知覚作用、表情作用、バリアゾーンなど)を阻害しないで、お肌の正常な働きができるよう配慮、工夫する事を外面美容のテーマとしました。

香粧品学に基づき肌トラブルを解消

このような事から香粧品学で定められた化粧品の目的である清潔と保護の安全な適用と、医薬部外品で定められた目的の効能・効果の範囲内で、可能な肌トラブルの回復が期待できるためのスキンケアの研究開発を進めました。特に合成界面活性剤・紫外線吸収剤・合成香料・合成色素・ミネラルオイル(植物油)・BG(ブチレンゴリコール)・エタノールなどを排除したスキンケアを薬学博士の藤間祐二先生が完成させ、しみ・小じわ・ニキビなど様々な肌トラブルの解消に役立っています。さらに、アトピー性皮膚炎や老人性乾皮症の予防については、近畿大学医学部皮膚科の手塚正教授がその効果を論文にて実証されています。

外面美容で素肌に自信を取り戻す

中でも、敏感肌は水分不足による一般的な肌アレルギーよりも皮脂不足が多く、細胞間脂質不足による、かゆみ、ほてり、痛み、発疹などを伴います。これは外的要因では紫外線や化粧品中の合成界面活性剤による皮脂膜や角質層の損傷が原因と考えられますので、皮脂膜形成や細胞間脂質、NMF(水分保持能力)、皮膚呼吸、皮膚の新陳代謝などが正常に働けるように外面美容では配慮しています。このように施術用基剤やホームケアに配慮し、正しく使用して使用感覚を満足させる事で、美に対して自信を取り戻す事を体験集にて実証しています。そして、その他の誤ったホームマッサージ・過剰なピーリング・ノンオイル美容・厚化粧・過剰な刺激・油や化粧品の乱用などの美容行為では、さらに細かな注意が必要と考えています。

○ 内面美

快食・快眠・快便～この当たり前の事が毎日できない

美しい健康な真皮には身体の健康が不可欠であります。美容の立場から許される範囲内の健康維持の指導では、大脑の本能の座で支配されている、快食・快眠・快便と言われる生存に不可欠な当たり前の事に重点を置いています。

しかし、残念ながら、この当たり前の事が正常にできない人が増え、美の追求の大きな問題となっています。このような事から、栄養のバランス・眠る環境作り・便秘防止策などの指導を心がけ、個性を重視し、個人に適応した方法とリズムを見つけ出します。

例えば、健康を損なうタバコやアルコールを一気に止めることを強要すると、ストレスが加わり、苦痛で困難になる場合が多く見受けられます。実証データによりますと、過剰な場合は半分の量から始める事で、ストレスが軽減され、自覚が芽生え、自己努力により完全に喫煙・禁煙ができる成功率が高くなっています。

食生活カルテで五大栄養素をバランスよく摂取

規則正しい食事で喜びを感じ取る

五大栄養素がバランスよく摂取できているかを施術者が確認し食事指導して、顧客の自己認識を高めるために食生活カルテを作ります。何を何グラム摂取したかなどの専門的な事は要求せず、規則正しく食べる喜びを感じ取る事に照準を合わせ、またこの時、食事内容がリアルに残るよう写真撮影してお互いの認識を高めます。

少しの工夫で、健康に関心が高まって快適な生活を体感でき、美意識の向上にも繋がっていきます。専門的には、精神的ストレスに対して自律神経・内分泌・免疫系は絶えず調整が行われています。栄養不足・運動不足・睡眠不足などの恒常性の乱れは、体の変調をきたし、皮膚の老化に影響をもたらします。また、外的要因での紫外線・乾燥・汚れなども老化の原因と言われています。このように外側と内面、及び精神面の三面連帯性は健康な真皮美追求にとって大変重要なポイントと考えてきました。

現代社会での外食中心の生活環境により、食生活がアンバランスになった人は、栄養のバランス、細胞の活性、血行促進、免疫強化などに役立つ栄養補助食品であるサプリメントを摂取すると、摂取しない人より美肌追求効果がより早く現れる事を、多くの実証データが明らかにしています。

◎ 精神美

過剰なストレスは素肌美に悪影響

現代社会における過剰なストレスが健康と美容に多大の害を及ぼし、健康な素肌美創りの維持には大きな障害となっています。人間関係、健康問題、経済問題、生活環境、情報の氾濫、美容問題など過剰なストレスの原因は様々ですが、いずれにしてもその原因を顧客と施術者が共に認識するカウンセリングが必要であります。

施術者の聞き取りからお互いの信頼関係が結ばれ、顧客は心を開き、共同体で勇気をもって問題解決に臨む決心ができます。そして顧客は一人で悩む事や過剰なストレスから開放され、結果的に報告過程を楽しみに持つようになる事が多く報告されています。

ハンドタッチのできない顧客にも自律神経の安定を図る

このような事から、精神美容で最も重視する事は自律神経の安定であります。そして、知覚作用や感応作用を応用する「五感美容」や「エレクトロハンド」などによる快適刺激により、自律神経が安定する事は、月乃桂子先生の臨床発表の中でも実証されています。

以上の自律神経安定の実績は、弊社の特技とするとこでもあります。同時にハンドタッチのできない顧客に対しても同様の自律神経の安定を導き、維持させる事が永年のテーマでした。まず自律神経を安定、維持させるためには、脳の α 波が 7.5 ~ 9 Hz の状態で、交感神経と副交感神経のバランスを正常に整え、休息やストレス解消、副交感神経優位傾向状態の環境整備をする必要があります。そして、仕事や友人関係などの生活環境の変化や自然環境との接点から初期段階として、自然を感じ“自ら”心休まる音楽などを家庭や自動車の中などの毎日の生活空間に工夫を凝らして取り入れ、軽くハミングしたり、ホームメイキングによる快適空間を整える喜びを感じ取る、癒しなどの実行指導を行っていますが、全ての精神美容において最も大切な事は、施術者の顧客に対する「思いやりの心」と「根気」である事が、顧客の声より実証されています。

「思いやりの心」「根気」で実行指導、素肌美を追求！

忙しさや煩わしさを理由とした通り一遍の会話やトリートメントは、顧客の不感を高め、お互いのあせりの心はストレスの増幅につながります。

それとは反対に、施術者の思いやりの心から出るトリートメント、会話、接客対応は、過度なストレスをもつ顧客が自己への自信を回復し、勇気や希望の湧き出る源となります。

そして、自律神経の安定が保たれ、健康な素肌美の追求にも良い結果を生み出す事が数々実証されています。

みずみずしい素肌を目指して

短大生になって肌を気にするようになり、社会人になって、化粧をするようになりました。その頃からTゾーンのあぶらっぽい所、目元・口元の乾燥が今までずっと気になり、年齢を重ねるごとに、目元のシワ、シミもどんどん気になってきました。

いろいろ化粧品を試してみましたが、これっというものがなかなか見つからず、そんな時にくれえるを知り、使ってみることにしました。使い方を聞いて、こんな少量で本当にいいの?と思いました。今まででは、しっとりタイプで、量も十分使っていたので、使ってみるまでは半信半疑でした。

でも、実際に使ってみると、2~3滴でも十分に肌にいき渡るのを感じました。

洗顔も少量ですごく泡立ちが良く、つっぱった感じもありませんでした。

Tゾーンの化粧くずれが前から気になっていましたが、しっとりとして、化粧直しもそれほどしなくても長持ちしてすごくいいです。

肌の手入れにかける時間も、今まででは何種類か使っていたので、すごく時間が、かかっていましたが、基礎化粧品だけで十分にうるおいが保てるし、気になる所のケアができるので、子供に手がかかる今、時間が短くできて、とてもうれしいです。

まだ、使い始めて2ヶ月程しかたませんが、目元・口元の乾燥がなくなり、しっとりする感じがし、シワも気にならなくなっていました。

シミも、うすくなってきたように感じ、今まででは子供との散歩も億劫に感じていたのが、遂んで楽しく散歩にいけるようになりました。これからも、ずっと続けていき、若々しい肌、みずみずしいハリのある肌を目指していくために、くれえる化粧品を使っていきたいと思います。



50代になった時の肌が楽しみ

やっと私の肌に合う化粧品に出会って半年。くれえると出会ってから自分に自信を持つ事ができ、楽しみが一つ増えました。私にとって、くれえるの嬉しい事は大きく分けて2つです。

①ファッション誌等でアイメイクのページは今や当たり前。私もその流行にのり、アイラインは当たり前、マスカラは何度も重ね塗りし、専用のクレンジングでかなり目に負担をかけていました。くれえるのアイライナーとマスカラは、肌に優しいコラーゲンが入っていて安心して使用でき、何と言っても仕上がりが自然でとてもきれいなんです。そして、くれえるのクレンジングで髪のようにきれいに落ち、アイメイク専用のリムーバーを使用しない事で目元にかかる負担がなくなりました。目元は年を重ねると必ず変化します。でも、今は何も心配していません。まつげも強くなり、少し長くなったようにも思います。

メイクしてきれいになるのは当然ですが、メイクをとっても、きれいなのはくれえるだからこそ出来る事だと確信しました。

②毎日必ず使う化粧水と保湿クリーム、肌に合わないものを使用し、何を使っても顔が赤くなり、頬のあたりがヒリヒリする事が多く悩んでいました。

肌が荒れている時に勧められて、今もリピーターになって使用しているのがくれえる。

使い始めて半月ほどで乾燥が治り、化粧水の使う量も今ではほんの3滴ほどです。もちろん言うまでもなく、肌荒れはすぐ治り、その後一度も荒れたことはありません。

病院へ行って治療した訳でもなく、高級な美容液等を使用した訳でもありません。

毎日使うものでこんなにきれいになれるなんて、今まで数々の化粧品メーカーを試してきましたが、初めての経験です。今では周りから「いつもきれいな肌だね」と言われるほど。私自身も目に見えてきれいになったと思っています。

毎日くれえるの化粧品を肌に乗せてあげることがなにより楽しみで、肌も必ず喜んでくれていると思います。これからもくれえるとは長い付き合いになりそうです。

私が40代、50代になった時の肌が今から楽しみです。



シミ、くすみが消えた

私がくれえる化粧品と出会ったのは、今から二年七ヶ月位前の事でした。今までどの化粧品を使っても、肌荒れの原因になった事はありませんでした。ところが三十歳を過ぎた頃、ある日突然、外出から帰って鏡を見てびっくりしました。なにやら黒っぽくなっている部分があり、これってもしかして、シミ!? それまでは、私はシミなんか出来ないと思っていた。それが、ある日突然気付いたのです。とてもショックでした。

なぜシミが出来たのかなあーと思っていた頃、あるTV番組で放送されていましたが、シミの原因は、子供の頃、無防備に日焼けしたりしていると、ある年齢に達した時にシミ爆弾が破裂して、シミの原因になると言わっていました。また、ストレスによって、ビタミンCが破壊されて出来ることもあると言わっていました。私は、これだと思いました。私は子供の頃、毎日のように夏休みになると、海で真っ黒になるまで泳いでいました。前も後もわからなくなる位、本当に真黒で、背中の皮もよくむけていました。また、仕事上のストレスもあったのかも知れません。

三十代も終わりの頃、シミがみるみる増え、色も濃くなっていくのがよくわかりました。

コンシーラーを塗っても、逆にシミが浮き出たような感じで、シミがかくれるどころではありませんでした。カバーメイクをしたところが不自然で、むらさき色っぽく見えました。

ある日、小学生の男の子と話していたら、冗談だと思いましたが、「子供になぐられたんじゃない!」って言われたほどでした。とてもショックでしたが、誰が見ても一目でわかるシミだったと思います。

正直言って、あまり人前に出たくなかったし、話をしていても、会話の途中でその人の目線が、私のシミに行くのがよくわかりました。



でも、どうしようもなくて、とても悩んでいた頃、くれれる化粧品に出会えたのです。私も、シミを取る為にいろいろな化粧品を試してみましたが、余り効果がえられませんでした。そんな時、私の友達が「くれれる化粧品っていうのがあって、美白効果にとても良いものがあるみたいよ」と教えてくれました。

でも、その時は私もまだ他社の化粧品が沢山残っていたので、とりあえずそれを使い終わったら考えようと思いました。

それから四ヶ月過ぎた頃、また、友達に相談しました。

「一度くれれる化粧品の一ノ宮さんに会って話を聞きたいんだけど」と言うと、友達は、早速電話をして、一ノ宮さんと会う機会を作ってくれました。一ノ宮さんは、私の悩みを聞いてくれて、良きアドバイスをして下さいました。

話をしていても、今日初めてお会いしたような感じがしなくて、私は100%一ノ宮さんを信頼して、お願いしようと思いました。

何の不安もなく、とにかくこのシミが早く取れるよう、努力していきたいと思います。

毎日、洗顔した後の自分の顔を見ては、うんざりする日が結構ばかりでした。

くれれる化粧品を使い始めてから思ったのは、なんだか新陳代謝が良くなって、今まででは顔に余り汗をかかなかったのに、くれれる化粧品を使い始めてからは、大粒の汗が顔からボタボタ落ちるほどです。今までの化粧品は、ファンデーションで毛穴をふさいでいるから、余り汗をかかなかったのかも知れません。

くれれる化粧品にしてからは、とても自然で、通気性もあり、全然重たい感じがしませんでした。それに、口の周りのカサカサ感や、ほほの小ジワがすっかりなくなってくれてすみが消え、はりが出て来たような感じがします。まさに、もちもちって感じです。

彼も、私のほほを押さえては、「しっとりでうらやましい」と言ってくれるほどになりました。私は、シミが取れることを信じて毎日頑張っています。昨年九月から、月二回のエレクトロハンドマッサージを受けるようになり、シミの取れ具合も一段と効果を増しています。

もうひと押し、取れるまで私も頑張るし、所長も一ノ宮さんも、一生懸命になってくれています。私は本当にありがたいなあ~と思っています。

このシミが完璧に取れるまで、私は頑張り続けて行きたいと思います。

所長、一ノ宮さん、最後まで宜しくお願ひ致します。

私が体験した奇跡

今から21年前、次男を出産した後、原因のわからないじんましんに悩まされ、全身に出来る“ほろせ”にがまんできず、近くの病院へ行き、出された薬を飲み続けていました。

ただその薬を飲むと眠くなるので、一日三回出されていたものを、昼間は飲まず、夜寝る前の一日一回に減らして飲み続け、気が付けば十三年。

その頃、体調が何とも言えずおかしいなあと思い始めていました。自覚症状としては、三十七度くらいの微熱が続いて、階段を上ると息切れがする程度でした。

とにかく元気が出ないし、やる気が起こらず憂鬱な毎日でした。

その時は、まだ病院へ行くほどでもないかなと思っていたのですが、そのうちスーパーへ買い物に行っても店内が一周できなくなり、仕事もとりあえず一ヶ月の休暇を貰って、そのうち元気になるだろうと思いながら、寝たり起きたりの状態でした。

家庭からは笑顔が消えていました。

これではいけないと思い、気分を変えようと行きつけの美容院へ行くと、先生に「抜け毛が多く、一本一本の毛に張りがないよ」と言われ、「体調はどう?」と聞かれました。「実はずっと微熱が続いて、何かしんどくて元気が出ないんです」と言うと、「顔に血色がなく、皮膚が薄くなっているように思うよ」と言われました。また「血管壁が薄くなったら青アザもでやすくなるよ」と言われた時、ハッとしたしました。

その時、打った記憶もないところによく青アザができていたんです。それから体調のことを話すと、次から次と先生の言っていることと一致することが出てきて、その時初めて薬の副作用の事を知りました。病院で出される薬を信じて疑いもせず、飲みつづけていた無知さを思い知らされました。



「一度大きい病院へ行って検査してもらったら」と言われ、とりあえず総合病院の内科を受診し、症状をありのまま言ったのですが、「何の検査をするの?」と反対に聞かれ、耳を疑いました。
「じんましんの原因も、検査しても特定できないし、副作用も眠くなるけど、ほかは心配ないですよ」と言われ、がっかりしました。

とりあえず多量の鉄剤と抗ヒスタミン剤を投与されて、次の診察日を言われ帰ってきましたが、受診する気分にもなれず、そのままにしておきました。

美容院の先生に報告すると、くれえる化粧品のリポチオとシープレスを勧めてくれました。
「自分の体は自分で守っていかないかんよ」と言われ、確かにその通りと思い、ほかに手立てもなく、すぐる思いで信じてみようと思いました。それからリポチオを一ヶ月に1瓶、シープレスを一ヶ月に1ケース続けてみようと思って食べ始めました。

じんましんの葉を減らし始めてからは、かゆみとの葛藤で、全身に次から次へと出てくる“ほろせ”に本当につらい思いをしました。

締めつけたり擦れたりすると、そこからかゆくなつて広がっていくので、下着もつけられず、温度差を感じるとまたかゆくなり、そんな時はもう、こんな思いをするくらいなら、薬を飲んで楽になりたいと思ったものです。

そんな時相談にのってくれたり、自分の家族のように親身になって励ましてくれたのが、リポチオを分けてくれている岩井さんでした。

命の大切さや、病弱な母を持った子供のつらさなどを語ってくれて、私のとりとめのない愚痴をだまつて聞いてくれ、最後には笑顔が見えるようになるまで話に付き合ってくれました。
そんな彼女がいなかつたら、今の私はないと思っています。精神面と内面から、徐々に元気になっていました。

半年が過ぎた頃、気がつくと顔の血色はよくなり、抜け毛も減り、微熱も出なくなっていました。今でもじんましんはところ構わず出てくれますが、体は元気になり、毎日笑顔で頑張れるパワーがあります。

私は今、人との出会いや送り合せに大変感謝しています。

スッピンで歩けるうれしさに自信も回復

初めてくれえる化粧品のエステを受けたのは、2002年6月14日。今から約1年前になります。この頃、私は30歳で、半ば、肌荒れは治らないかも…とあきらめしていました。

その時、友人から、くれえる化粧品のエステを勧められ、是非受けてみたいと思い、担当のやすこさんと連絡したのです。

そのときから、くれえる化粧品との出会いは、私にとって大きな出会いとなりました。

2002年6月中旬から、数回エステを受けた後、早いうちから、私の肌に変化が出たのです。そのときから、今まで受けたエステでない心地よいフェイシャルマッサージのとりことなりました。

その頃の私は、両方の頬に、夏みかんの皮状態の凸凹が跡になって残っていました。

20代の頃に、頬の三角ゾーンに吹き出物が出ていました。そのとき、肌荒れした後の手入れが悪かったらしく、しっかりと跡が残ったのです。というのも、以前受けたエステで、ジェル状のパックをしたのですが、それが、通気性のないパックで、肌の中の汚れを閉じ込めてしまったようです。

その溜まっていた汚れが、くれえるのクリーンアップエステを受けた後、肌の毛穴が開き、外に出てきたのです。それから、眠っていた子を起こしたように、再び吹き出物が花盛りの状態に戻ったのです。それから、約6ヶ月ほど、毛穴という毛穴から次々と吹き出物が出続けました。この時期は精神的に大変でした。それでも、ここでやめては中途半端になると思い、2週間に1度のエステに通い続けました。すると、エステの予約日が近づくと、吹き出物の花盛り状態になり、エステが終わると、少し変化が出て、肌が落ち着くのです。

この繰り返しがしばらく続き、気分も一喜一憂の繰り返しで、つらかったです。

さすがに、私も一時期悩みました。1、2ヶ月の間なら辛抱できたのですが、私の場合、半年以上も花盛りの時期が続いたのです。この時期は、人前に出るのも苦痛を感じ、いつ終わるともしれない状況を直視できなくなりました。

そこで、一度、皮膚科へ行き、医学治療に頼ろうかとも考えたのです。

一時的な効果が得られる治療には、副作用も出てくるという説明でした。私はその日考え、病院より、くれえる化粧品のエステに賭けてみることに決め、担当のやすこさんと相談した末、再度エステを続けていくことにしたのです。



あの頃が一番つらい時期でした。つらい時期を乗り越えると、みるみる肌の裏みかんの皮がひと皮むけたようになりました。吹き出物の数も減り、凸凹が薄れて、目元、口元がスッキリし、顔の大きさもひとまわり小さくなり、全体的に顔の印象が引き締まってきた。

その変化はめざましく、自然治癒力を引き出した成果が次々と現れ始めたのです。

あの時、くれえる化粧品を選んでよかったと、心から思いました。

肌が落ちちぎってみると、くれえるの健康美容食品のリポチオを毎日内服し、洗顔は、担当のやすこさんに勧められて、くれえるのクレンジングクリームと石鹼のダブル洗顔。その後、アンメランを1年ほど使い続けています。

振り返れば、エステを始めて、2002年6月～12月末までは、花盛りの時期で、2週間に1度のエステを受けていました。この頃は、はじめ外出時には、帽子が手離せなかった。でも、このとき、少しずつですが、“目元辺り”が美肌になり、内側からの肌の変化を感じていたので、早く肌荒れがおさまるのを待ちながら、エステに通っていました。

そして2003年1月からは、週1回のエステに変更。集中的にエステに通ったおかげで、帽子をかぶらなくてもスッピンで外を歩けるようになりました。



▲体験前



▲3ヶ月後

くれえる化粧品と出会って

私がくれえる化粧品と出会ったのは、今から25年も前のことになります。

その頃、私は香川県高松市に住んでおり、屋島総合病院の皮膚科の先生から「黒皮症です。もう治ることはないでしょう」と診断され、一生この黒い顔で過ごさなければならないのかと、絶望的でした。友人の「みごとに真っ黒だね」とか、娘の「幼稚園の参観日、もう来ないで！」との何気ない一言が胸にグサリと突き刺さり、鏡を見るのもつらくて、人に会うのが嫌で、ゴミを捨てに行くたかが2、3分のためにも厚塗りの化粧をしておりました。

そもそも、こうなったのは、この2、3年前にP化粧品のフルコースを半年間、義務で使用したがための結果でした。無知だったとはいえ、化粧品会社と裁判するまでにもなりかけましたが、結局、最後は「肌に合わなかった」の一言で、私の泣き寝入りとなってしまいました。

葉子折りとバスタオル1枚で…。

あの頃の私の顔は、今思い出してもゾッとなります、ちょうど、夏ミカンに煤を塗りつけたようでした。毛穴は開ききって、むずがゆく、メイクをしても全然白くならないので、上へ上へと厚塗りしてしまう始末です。肌に良いといわれる飲み薬、塗り薬、漢方薬、お茶など、ありとあらゆる物を使いましたが、良くならないのです。

そんな折、ふとしたきっかけで中本さんと知り合うことができたのです。が、半ばあきらめていた私は「また違う化粧品で大丈夫かな？」と期待もせず、勧められるままに使い始めました。最初は赤い大きな吹き出物が、顔のあちこちに出ましたが、中本さんの「今までの悪いものを全部出してしまったほうがいいし、心配ないですよ。きれいになりますから…」という励ました言葉を半信半疑で聞きながら続けることにしました。

香川県から沖縄県、現在は徳島県に居を構えましたが、どこへ引っ越しても頑張り、だんだんと肌も丈夫になり、自分で言うのもなんですが、人並み、いやそれ以上にきれいになってきました。



外出しても、ジロジロ振り向かれなくなるには3、4年ぐらいかかりましたが…。化粧品に興味のなかった母までが「(くれえる化粧品に限り)化粧品ってすごいなア。こんなにきれいになるんやなア」と、自分も下地(クレンジングクリームからロオイルまで)のみですが、使うようになりました。

そんなこんなで、まずひと安心した平成3年には、何年も前に病院で頂いていた花粉症の薬の副作用が出て、顔から首、胸、背中まで赤いツツツツがいっぱい出て、夜も眠れない程かゆく、透明の液まで出てくる始末です。

それが乾いて身体も顔もパリパリになり、口も開けられないので。

皮膚もボロボロで、フケのような物がむけ落ちるのです。そんな悪夢のような状態が半年続きましたが、くれえる化粧品に助けられて、それもすっかり良くなりました。

病院の薬も怖いなあとつくづく思いました。

今では、花粉症のほうもプロポリスが効いたのでしょうか?

鼻炎も結膜炎も出なくなりました。

また、私の苦い経験から、二人の娘も学生時代からくれえる化粧品を使うようになり、長女は今春結婚しましたが、いつもと同じように花嫁の化粧もくれえる化粧品を使い、白無垢、ウェディングドレス、カクテルドレスと、和装も洋装も見事に仕上げて頂きました。

透き通るような肌色できれいでしたが、若さだけのせいではなかったように思われます。

現在、私は以前の顔を知らない人たちから「肌、きれいねエ。生まれつきでしょう」とか「10歳は若く見える」(ちょっとオーバーかな?)とかほめられますが、まんざらでもなく、一人悦に入っています。

あの汚くてどうしようもなかった肌が、くれえる化粧品と中本さんに助けられて本当に見違えるようなキメ細かい、白いツルツルの肌になることができました。

中本さんいわく、「僕のお客さんで、砂山さん程ひどい人はいまだに出てこない。

でも、本當によく治ったものだ」と。これから歳を重ねて、肌だけではなく、身体も元気でいられるように、リポチオやプロポリスも毎日続けていきたいと思っている今日この頃です。

くれえる化粧品に出会うことができて、私の人生は変わりました。

本当にありがとうございました。

■長く辛く暗い思春期

くれえる化粧品と出会って半年になります。

そこまでの道程は、長く辛く暗い日々でした。

思春期を過ぎ気がつくと、顔には青春のシンボル「ニキビ」がいっぱいできていました。

鏡をのぞく時間が増え、潰したら跡が残ると知りながらも、気になるからついつい潰してしまうんです。

その結果、大変なことになってしまいました。

あらゆる洗顔フォームも使いました。皮膚科に

も行きました。ニキビによくない食べ物は食べ

ないようにしたり、早寝早起きし、睡眠時間は、十分にとっていました。

でも、全然よくなりませんでした。いろんな事を試してもよくならない苛立ちとあせりからストレスとなり、内面からもニキビの要因になっていたと思います。

人前に出るのが嫌になり、年中部屋に閉じこもる生活でした。学校へ行くのも嫌になり、友達に会うのも避けていました。以前は、休みになると家に居ることなく、遊びに出かけてばかりいました。

くれえる化粧品に出会えて人生が一変しました。

外的、内的、精神的にとてもリラックスできて素晴らしいと思います。

少し大袈裟かもしれないけれど、でも、やる気と笑顔を取り戻させてくれました。

先生の笑顔が、自信を持たせてくれるんです。きっと、もとの肌に戻れるんだって！

皮膚科の薬でも治らなかったのに、化粧品で治るなんて驚きです。

くれえる化粧品に感謝しています。有難うございました。



△体験前



△体験後

ニキビが減って化粧はキレイになるものと実感

中学校以来ずっと、ニキビに悩まされ続けてきました。皮膚科にも行きましたし、ニキビ用の商品も、いろいろ使ってみました。しかし、どれを使っても、いっこうにきれいにならず、途方に暮れていた時、おばが、くれる化粧品を紹介してくれました。

おばも使い始めたばかりだったのですが、サロンの人からこの化粧品は、アトピーとか、ニキビとかも、きれいにしてくれるということを聞いてくれたからです。

おばの言葉を信じて、もう、これしかないと、心に決め、すぐに基礎化粧品4点とリボチオを使ってみること

にしました。それでまずびっくりしたのが、今までの洗顔の仕方がまちがっていたことと、化粧しなければクレンジングはしなくていいと思っていたことです。そこで、正しいクレンジングと洗顔の仕方、化粧水のつけ方などを教えてもらいました。

今までのやり方ではキレイになるはずがないと納得しました。

そして、化粧品なんてどれを使っても同じものだと思っていたが、今は、化粧品は、キレイになるために使うんだなということを実感しています。

クレンジング1個を使い終えないうちに、まわりのみんなから「キレイになってきたね」と言われるようになり、心も明るくなってきました。

毎日、朝、夜、同じお手入れで、しかも簡単なので、これからもずっと続けていきたいと思っています。もっともっとキレイになって、肌のコンプレックスをなくしていきたいと思います。



△体験前



△体験後

お父さん、お母さん、ありがとう

すべての始まりは、中学生の時でした。アトピー性皮膚炎になり皮膚科へ、そこで出された薬がステロイドだったと思います。それから十数年、かゆみが出てひどくなれば病院へ、治れば行くのをやめその繰り返しで、それでも私はステロイドに何の疑問も抱かず、普通の人と何ら変わらない生活を送っていました。

そして就職をして4年程たった頃、仕事がとても忙しくなり精神的にも肉体的にも限界を超えた時、ステロイドが効かなくなり顔の赤みが消えなくなりました。その時初めてステロイドに対して全く知識がなかった私でも、このまま薬を使つても治らないと思いました。そんな時、同僚からある薬局を紹介され一度訪ねてみることにしました。そこでステロイドの怖さを知られ、すべての薬をやめ、健康食品による治療をはじめました。その薬局にアトビースのシリーズが何点かあり、お顔のお手入れにと使っていきたところ、気分転換にと「くれえる」のエステを薦められました。

およそ16年使っていたステロイドによるリバウンドはつらいものでした。顔は真っ赤にパンパンに腫れ上がり、外にも出られず、会社も数日休みました。さらに、皮膚科で注射をしていたところからばい菌が入り、ひじから手首まで腫れ熱が出ました。

この時、仕事を続けながら治す自信をなくし、不規則な生活、不規則な食生活、何よりも仕事によるストレスから体を解放してあげなければならない、と思い退職を決意しました。

退職後、8年半の一人暮らしから両親のもとに戻りました。仕事のストレスからは解放されたものの、やはり環境が変わったせいか顔の赤みはなかなかとれず、一途一途を繰り返していました。

そこで、健康食品のなかにも漢方薬などが含まれていたため、薬局から出されている健康食品をやめてみることにしました。

すると、およそ2ヶ月後、両方のほっぺたから黄色い汁が出て、べたっと分厚くて黄色いかさぶたが私の顔に張り付いたのです。

蓮井先生からこうなることは聞いていたのですが、やっぱりという気持ちといつ治るんだろうという先の見えない不安から、何をする気力も失い、ただただぼーっとしている日々が過ぎていきました。もちろん外には出られず、台所の食べ物の匂いや油の匂いなどがほっぺたに張り付いている黄色いかさぶたにまとわりつくようで台所へ行くことができず部屋まで食事を運んでもらったりもしました。



この時のことを思い出すのが一番つらくて、でも私は鏡を見なければそのひどさはわかりませんが、両親は私以上に辛かったと思います。でも、私は自分の事だけで精一杯で、両親の気持ちを考える余裕もなく、ひどいことを言ってしまうことがたびたびありました。

辛い日々はまだまだ続きます。黄色いかきぶたが自然にとれるのを待っているのに横を向いて寝る癖がついていたため、枕にほっぺたがついてかきぶたがとれてしまったり、さらに寝ている無意識の間にかきぶたをとってしまったりとなかなかよい方向には行きません。

蓮井先生とどうしたものかいろいろ考えて、まず上を向いて寝ること、そして寝ている間に手が頭に觸かないようにと長袖のパジャマの袖口を安全ピンでパジャマの襟にとめて手を固定させて寝たり、ベルトをしてタオルで手首を縛ってそのベルトにくくって固定させたりと試行錯誤しました。しかし、なかなかかきぶたはとれず、少しずつ体の方もかゆみが出てきました。

そして4ヶ月程が過ぎた頃また次なる試練が訪れました。アトピーからくる白内障です。

すぐに手術をすればよいのですが私のアトピーがひどかったため、なかなか出来ず、先送りにしている間に暑くなってきて、今度は暑さのため手術の決心がつかなくなっていたので、一応、涼しくなる10月の上旬に手術することになりました。

白内障、お年寄りの方がなる病気だと思っていました。実際、すり硝子を通して全てを見ているようで、明るいところに行けばいくほど見えないので、外の階段が見えなかったり、食事をしていても何がはいっているかわからないのでおいしくないし、なによりも一人で何も出来なくなってしまったことが辛かったです。



そして、老人性の白内障とは違ってかなり進行は早く、3ヶ月後には右目が見えなくなってしまった。そして、眼科の先生から手術を急ぐように言われ、心配していた顔の黄色いかさぶたも少し前からプロボリスを飲んでいたこともあって、だいぶん薄く小さくなっていたので9月の上旬に変更しました。

手術は無事終了して、白内障も治り、視力も以前ほどではありませんが元に戻りました。

何よりも心配していたアトピーも悪くなることはなく、むしろ良くなっていました。

そしてその2週間後、ストレスがアトピーにとって1番の大敵だということを再確認しました。ここ数年リハビリセンターに入所していた車椅子の祖母が、1年近くお見舞いに行けない私に時々電話で励ましてくれていました。その祖母が、突然亡くなり、退院してから1度もお見舞いに行っていなかった私は行かなかったことを後悔しました。

心配させないように、もう少し良くなつてから行こうと思っていたのに、でも目は見えるようになったんだから行けたのに、そんなことばかり考えていました。

するとみるみるうちに、顔は赤くなり黄色いかさぶたは分厚く大きくなり、手もかゆくなりました。しかも、今まで家には3人しかいなかったのに、お葬式ということもあって、家には毎日人がいっぱいという状況に体が耐えられなかったようです。

どうしていいのかわからなくなっていた私は蓮井先生に相談して、なんとか乗りきることが出来ました。

そして数日が過ぎ、元の3人の生活に戻るとあっという間に顔も手も元に戻りました。

今、こうして振り返ってみると大変な1年でした。アトピー、白内障、祖母の死、これだけのことを乗り越えてきました。自分でもよくがんばったと思います。そしてなによりも両親に感謝しています。正直なところ、くれえるの化粧品は安くありません。

その上、体にもクリームを塗るためにたくさん使うので支払う金額もかなりの金額になります。でも、何も言わず出してくれました。

そして父は、去年くれえるに行くとき、眼科に行くとき、運転の出来なくなってしまった私を、いつも会社を休んで連れて行ってくれました。

母は、私は何も出来ないからと言いながら、朝早く起きて昼食の用意を、仕事から帰ってはバ



▲ 体験前



ランスのどれた夕食を作ってくれました。

それを約半年ほど毎日写真に撮り、蓮井先生のアドバイスを受けました。辛いなかにも両親の何かがあったかいものを感じました。

あのころは他の人の私を見る目、何ともいえない目がいやで人と会うのを避けていました。

どこかかわいそうにとか、すごいなあと、そういう目をしているように見えたのです。

そして、笑われたこともあります。

もし、アトピーの人を見てもそんな目はしないでほしいと思います。

今でもそうですが、人に会うときはすごく勇気がいるのです。

でも、蓮井先生や蓮井さん、くれえるの人たちは、普通の人と同じ目で私を見ててくれていました。ほとんど家を出ることがなかった私は、唯一家を出してくれるに行って先生とおしゃべりするのが楽しみでした。

そしてやっとここまで良くなりました。

まだ、完全ではないので、さらに良くなるように、今年こそはいいことがあるように、前向きにがんばって行きたいと思います。



▲ 体験後



同じ悩みをもった人に役立ちたい

今から約2年前、まだその頃はくれえる化粧品と出会う前のことでした。

もういい加減薬を塗っても、塗らなくても変わらなくなってしまった自分の肌に、とてもショックを受けていたのです。

私の肌は実をいうと、最近問題になってマスクもとりあげているあのアトピー性皮膚炎だったのです。この症状は、どの病院に行っても塗り薬を出されるばかり、どの薬も副腎皮質ホルモンの入っている薬でした。

皮膚科の出す薬で、その副腎皮質ホルモンは、一番強い効力があるのです。

塗れば一時的にはすごく肌もきれいに見え、かゆみもおさまるのですが、薬の効果がきれると、またさらに以前よりも増してかゆみと肌のおとろえがでてくるのです。

しかし、私にはどうすることもできませんでした。病院に行けば薬しかもらえない、薬を塗っても治らず、余計ひどくなってしまう。でも医者はそんな変わり果てていく私にまた同じ薬を出すのです。ムーンフェイスと呼ばれるほど顔が真っ赤にふくれあがり、私の肌はだんだん皮膚呼吸ができないまでになってしまいました。それから3ヶ月が過ぎた頃です。ちょっとしたきっかけで、くれえる化粧品と出会えることができたのです。

私の場合は他のアトピーの人達よりも症状がひどく、全身に病院の薬による副作用がでていたので、最初の頃は本当に治るのが不安でした。

しかし、そんな私の悩みをとても真剣にカウンセラーの方々並びにエステティシャンの方々が聞いてくださり、良きアドバイスとそしてみんなで一緒に治していくこうと力づけてくれたのです。

私には、こんなに体の事を心配してくれる人達がついていてくれる、信じて頑張って治していくこうと決心し、くれえる化粧品を使い始めたのです。

最初の頃は薬をやめたせいなのか薬を塗らないとまたさらにひどくなってしまったのです。しかし、また薬を塗ってしまうと前と同じ事の繰り返し、絶対に治らないと思い、気持ちを入れかえて薬を完全にやめました。

それからというもの、会社にも行けない程目がはれて顔はただれて鏡を見るのがとても怖かったくらいでした。体からは血やうみがでて、洋服や下着にはべったりとくっついてしまい、はがすにも痛くてはがす事ができなかったのです。



くれれる化粧品を使い始めてしばらくして、そんな私の肌も少しづつ変化していきました。最初は夜も眠れない程だったかゆみもだんだんうすれ、精神的にもすごく楽になりました。20年近くかゆみに追われていた私にとって夜眠れるという事はどんなに嬉しかったか…。イライラしていた短気な性格も、かゆみと痛みがなくなるにつれ落ち着いてきたのです。くれれる化粧品を使い始めてちょうど1年。私の顔や体は1年前と比べて全く違っていました。他の友達にもきれいになったねって言われる程になったのです。そして結婚式も無事に挙げる事ができました。1年後に結婚ができるなんて…あの頃の私にとっては夢のまた夢でした。今では子供も生まれ、今この幸せがあるのも私がくれれる化粧品と出会えたおかげだと心から感謝しております。この体験談を、今私と同じアトピーで悩んで苦しんでいる人達に話し、その人達とともによりいっそうきれいになれたらと思っています。最後に、カウンセラーの方々、エステティシャンの方々並びにスタッフの方々本当にありがとうございました。



▲体験前



▲5ヶ月後

私が使える化粧品が見つかった

私は生まれつきアトピー性皮膚炎で20年間病院通いを続けてきました。

大学生になるまでは、自己申告しない限り他人には気づかることのない程度の症状で、湿疹がでるのも年に1回、冬から春にかけての1ヶ月位でした。

その湿疹というのも近所の皮膚科で頂く軟こうを塗ると、まるで魔法の様に1日か2日でキレイに治ってしまうもので、自分でも全く善にならない病気でした。

ところが20才を目前にした秋11月頃から、例年ないかゆみが体中に広がり、しばらく放置していたものの顔が赤くはれたり、髪がぬけたりという症状へ悪化してきました。

その頃から恐怖を感じる様になり、両親のすすめもあって大きな病院へ変えることになりました。初めて診療を受けた日、私は即入院させられました。前の病院で頂いたお薬は、炎症をひどくしてしまうものだと聞かされました。

そして同じ病室に入院されている方も全く同じ様な症状で、薬、注射、紫外線療法などの治療を受けていらっしゃいました。私も薬づけの1ヶ月でした。が退院時には見事に綺麗な肌をとり戻していました。喜んでいたのもつかの間、治っていると思った肌は薬なしではいられない状態になっていたのです。

1日薬を塗らないと赤くはれてしまいます。その頃の私は、お医者さんを信じて薬を塗るということしか治すすべを知らず、薬のない生活なんて考えられない日々を過ごしていました。

それと同時に髪の毛だけではなく眉毛まで抜けはじめ、頭も少しづつ変化していきました。ちょうどその頃です。私はスタジオ・ジュノンに出会いました。昨年の10月、“アトピーが綺麗に”そんな言葉に半信半疑で行ってみたのです。

サロンの方にカウンセリングを受け、くれえるの新聞やアトピーに関する本を借りて読んでみました。そこで副作用の恐ろしさや、私の魔法の薬だと思っていたのが、今問題のステロイドだと知られ、ショックを受けました。

薬をやめるということは、私にとって日常生活をスムーズにおくれないという事との戦いでもありました。しかし今やめなくては、その後の代償の方が私には恐怖だったのです。

私は決心して薬という薬を全部捨て、くれえるの化粧品とサロンで施術を始め、今4ヶ月がたとうとしています。



今まで市販されている洗顔フォームやお医者さんで頂くソープでも顔を洗えなかった状態でしたが、くれえるアシールソープで顔を洗ったところ、つっぱり感も無く、痛みも感じられませんでした。

今、楽なしで普通の生活が送れるまでに回復したのは驚きです。

治療を始めた頃、顔がまっ赤にはれ、学校を休んだこともありました。外気にふれるだけでも苦痛な日がありました。

それを通りすぎると次は顔の皮がめりめりとむけはじめ、まるで魚のウロコがはがれる様になりました。不安はありましたが、サロンに来るたびに「良くなっているよ」という声にはげまされ、ここまで來ました。

薬をやめ、薬作用の心配もなく治療に専念でき、今では少しずつ眉毛もはえてきて、ファンデーションも使えるようになり「変わったね、綺麗になったね」と周囲の人から言われるようになりました。

私事になりますが、今年の5月より教育実習が始まります。スタジオ・ジュノンとくれえる化粧品に出会えなかったらきっと不安があったでしょう。

やはり周りの目は気になりますから…。今、21才の大学生です。仕事をする前に変われて本当に良かったです。1年前、外に出るのも苦だった私の人生は変わってしまいました！

これからも、もっともっと綺麗に変わらるよう努力していきたいと思います。

本当にありがとうございます。



▲ 体験前



▲ 3ヶ月後

何もかも信じられなくなっていた頃…

「この塗り薬はそんなに心配しなくていいですよ。

皮フは毎日生まれ変わるし、長期間使わなければ副作用も心配ありません。」

今日も皮フ科の外来ではこんな風に簡単に医師からステロイド軟膏の処方がされています。また病棟においてもちょっとかゆい、ほんのちょっと皮フに湿疹ができるというだけですぐに医師は「よく効く軟膏を処方しましょう」という具合にステロイド軟膏を使わうとします。

その恐ろしさを知らない患者たちは本当によく効く薬だとせっせと軟膏を塗るのです。今までの自分の経験を思うと信じられない現実です。

私がアトピー性皮フ炎と診断されたのは、4～5才の頃でした。当時は症状も軽く、医師からも大人になれば自然と治るでしょうと言われていました。そしてその頃からです。私がステロイド軟膏を使い始めたのは。

けれど医師の診断通りいかず、私のアトピーは一向に良くなりませんでした。何軒もの薬局をたずねてはいろいろと漢方薬を飲んだり、アトピーによく効くという薬があれば試してみましたが、結果を出すことはできませんでした。そして結局は皮フ科でステロイドを使い、今現れている症状を抑えるだけの対症療法にたよるしかありませんでした。

そして19才の頃よりほんの少し外に出ただけで顔が真っ赤に腫れるようになり、その後は板道をころげ落ちるようにならざるを得なくなりました。

ほとんど年中、顔は赤く腫れ、痒みはひどく、日光に当たれば更に症状は悪くなり、日中は外出できない程になりました。

それでも皮フ科の医師よりは、何種類ものステロイド軟膏と抗アレルギー剤に、全然効かない痒み止めの内服薬を処方されるばかりでした。またあまりにもひどい時にはステロイドの注射を受けましたが、それも一時的に楽になるだけではしばらくすればまた元にもどるという無駄な処置を受けていました。

何の改善のきぎしもみられないまま25才の春に皮フ科の医師にもうステロイドを止めるしかないと言われ、ステロイドの離脱の為に3ヶ月の入院をすることとなりました。

医師の指示通りにやってきた自分が、どうしてステロイドの副作用に苦しまなければならぬんだろうという疑問を持ちながらの入院生活でした。

その入院生活はと言うと、激しいリバウンドが続き、特に顔はケロイドのようにただれ、トイレに行くのさえためらってしまう程でした。退院後も顔はじゅくじゅくで苦しい日々が続きました。



その頃にくれえると知り合えることとなつたのです。

これ以上顔がはれるのは嫌だと言う私の希望でオイルのみ使用することとなりました。

最初は手足が真っ赤に炎症を起こし、痛みも激しかったのですが、顔の方はじゅくじゅくするのもおさまり、もしかするとくれえるで私はアトピーから脱出できるのではと希望を持つことができたのです。くれえるを始め半年ほどで症状も大分治まり、このままどんどん良くなるのではないかと思うぐらい良くなりました。

けれど良いことばかりは続きませんでした。再び顔が腫れたりじゅくじゅくしたりと症状が出だしたのです。手や足もゴワゴワで、炎症もひどく、痛みも激しく我慢できなくなり、とうとう皮フ科の医師に助けを求めていました。

皮フ科ではお決まりのパターンでステロイドの内服薬を処方され、一時的には良くなつたものの、ステロイドが減量されると再び症状が悪化するという悪循環を繰り返していました。後で考えると、せっかくつらい思いをしてステロイドを止めようとしてきたのに、どうしてまたステロイドに頼ったりしたんだろうと悔やまれて仕方ありませんでした。

けれど、くれえるのスタッフの皆さんからも励まされ、もうこんなバカなことはしないと決心しました。決心はしたもの、再びステロイドを止めた後の症状はすさまじいものでした。背部はケロイドのようにただれ、首も空氣に触れるだけで痛み、手足もパリパリに乾燥し、全身の激しい痛みに絶望的になり、毎日泣いて過ごすような有様でした。

そんな激しい日々が1年近く続きました。いつまでこんなつらい日々が続くんだろうとスタッフの皆さんにはくどくどと愚痴を言いましたが、その都度真剣に相談にのってくれました。おかげで今年の春は例年ないほど調子が良くなりました。

いつもなら2月頃より日光を浴びると顔が真っ赤に腫れあがっていたのが、今年はほんの少し腫れた程度で済みました。体の痛みも消え、自由に体が動くことの嬉しさで一杯です。ただ一つ残念な事は、ステロイドの副作用で白内障が発病してしまったという事です。

その程度は軽いものの、日常生活においては視力が落ちた為、かなり不自由を感じます。もっと早くにステロイドを止めいればと不便な度にそう思います。

今もどこかでステロイドの怖さを知らず、せっせと体に送りこんでいるのかと思うとぞっとなります。この現実を一人でも多くの人に知ってもらわればと切実に思います。



▲体験前



▲1年2ヶ月後

とても笑顔のかわいい子供になりました。

私の子供は、生後1ヶ月過ぎからアトピーに悩まされ、目を覆ってしまいたくなる程ひどく、髪の毛は生えない、顔の皮膚はめくり上がり、ひび割れた所からリンパ液が出ていた状態でした。母乳をやめ、アレルギー用のミルクに代えました。牛乳や卵はもちろん、肉、魚、パンやご飯までも食べることが出来ませんでした。

生後6、7ヶ月ともなれば、食欲が出てきます。でも何も食べさせる事も出来ません。ただ味も塩も素っ気もないミルクを飲んでいた毎日でした。そして私をすがる様な悲しい目で見つめていました。私はこの子供にかかりっきりで3歳のお姉ちゃんの相手をしてあげられず、この子供がアトピーになる前までのあの明るさが、いつの間にか無くなっていました。この子供2人にとってすごくつらい時期でした。私もとてもつらかったです。

丁度その頃、友人にさち美容室の先生を紹介していただき、「くれえる化粧品」を勧めてもらいました。5月15日に「くれえる化粧品」を使い始めて、先生が顔にナース液を使っていました。だんだん気持ち良くなったのが寝てしまいました。あまりの嬉しさに泣けてしまいました。2週間位で効きめが現れ、めくれ上がった皮膚がはがれ始めました。私自身、短期間でこんなに良くなるとは思いもよらず喜しくて泣いてしまいました。だんだんと使っていくうちに、じゅくじゅくした感じもとれ、約3ヶ月後にはすっかりきれいになりました。

この頃から食事をする時に、リボチオと一緒に食べ始めました。そのおかげで、ご飯はもちろん、肉や魚、卵まで食べられるようになり、間食のおやつも食べれる様になれ、体力も付いてきたのがわかるほどです。今では1歳になり、とても笑顔のかわいい子供になり、お姉ちゃんも表情豊かになり、姉弟で仲良く遊んでいます。今でもあのつらかった時や、治ってきたときのことを話す度に涙が出てきます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

同じアトピーを持つ方に「是非くれえるを…」という気持ちです。

さち美容室のスタッフの皆様には、いやな顔もせず温かく大変親切にしていただき、心から感謝しております。

ありがとうございました。



△体験前



△体験後

6カ月できれいな肌になりました。

5才の娘が2才の時に「アトピーが治るよ」と知人に紹介されて使い始めました。アトピーといつてもひじの内側とひざの後ろが赤くなっているくらいの軽いものでしたので、オイルだけを塗っていました。

使い始めて半年くらいたった頃から、全身にボツボツと発疹が出てきました。以前に薬を使用していたのでその副作用のようでした。

それからアトピーとの戦いが始まりました。

夜はかゆくて寝れないし、昼間もかかないようにしなくてはいけないし、24時間神経を使っていました。販売店の人とも毎日のように連絡をとり、指導していただきました。

かゆくなるとかく、かくと血が出る。せっかく良くなってきたのに…。

そんな日が2ヶ月くらい続きました。かいても、かいてもひたすら化粧水とオイルとハンドをつけつけました。

そして今はつるつるの肌になりました。

それから長男を出産しました。

でも長男もアトピーでした。けれどもう憚てたりはしませんでした。

生まれてすぐリボチオを飲み、オイルをつけ、石けんを使い、医者に頼らず6ヶ月できれいな肌になりました。それで生後1ヶ月の次男も今リボチオとオイルを使用しています。私たち家族にとってくれえる化粧品は今はもう必需品となっています。



▲体験前



▲8ヶ月後

79歳で小ジワのない嬉しさ

今、思いおこしてみると、昭和33年、私、33歳。民放4局開局、致しました。コマーシャルタレント、第一期生養成、朝日放送テレビ～編成局・毎日放送テレビ～編成局・読売放送テレビ～編成局・関西放送テレビ～編成局(広告会社)電通、大広、博報堂他(スポンサー)サントリー、福助足袋、小野薬品他、東京は、3年前より始動。

その試験が大阪電通局、7階ホールであり、2400名位の中より、50名、えらばれた中に、私も入って居りました。毎日、2年間、標準語＝泉田行夫先生、日舞＝花柳先生、洋舞(バレー)＝西野先生、演技芝居＝毛利菊枝先生、朗読＝吉川佳代先生、殺陣＝真咲の殺陣師の先生、デンマーク体操他、広告論、テレビの仕組み他、色々勉強させて頂きました。

テレビのメイク、映画、芝居のメイク等、その頃、各局の化粧メイク室の化粧は、マックスファクターの棒状のステイックでした。原料は、石油。色数は相当数あったのを記憶しております。その頃、長谷川一夫先生、高峰秀子さんと、宝塚映画「浮城」他2本の映画で御一緒させて頂きました。映画、カラーは、テレビもライトが強いのです。

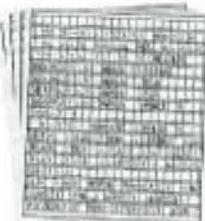
2、3年位、過ぎた頃、私の顔が、真っ黒になり、クチビリの跡1ミリを残した後は、印度人もビックリ。皮膚科の門をたたきましたが、ビタミンCの注射、ハイシーの飲み薬だけでした。顔が真っ黒では、仕事はできません。外出もできません。その頃、テレビで、「リール黒皮症」の方々が、化粧品会社を訴えていたのが、記憶にあります。

京都のお友達が、ある日、「くれえる化粧品」を持って、御見舞に来てくれました。「これ、ええ化粧品やと思う、一度使ってみたら」この時が、「くれえる化粧品」との、初めての出会いです。外出できずに、家の中ばかりいる私。夕方庭先で、水まきをしている私の顔を見て、隣の奥さんが、「少し、黒、白くなってきてはったんとちがう」「それ、黒いのん取れて来たら、その化粧品私にも紹介してなあ」

3年後やっと、もとの顔に戻れました。その後、CMの仕事に、復帰出来ました。

60歳過ぎ迄も、ありがとうございました。79歳の今も、小ジワ一つなく過ごさせて頂いている私、くれえる化粧品のお嬢です。

今迄の体験を生かして、くれえる化粧品を自信を持って、おすすめ出来る事、これが、これからのお甲斐です。有難うございました。



● 三面美容の実証例

● 方法

個人差のある「感性の満足値」は客観的に認められにくいので、「外観視診」により健康な素肌美の基本である「潤い、滑らかさ、張り、弾力、血行」が整っている状態を自定にしました。

● 対象

性別、年齢別に関係なく、心体美の観点から、病気でもないが健康でもない「未病」の人、及び紹介者を対象に含めました。

● 目的

誰でもが「健康な人」と同じ様に、美を楽しめる人生を送れることを願い、「健康と美」をテーマにしました。

● 協力者

医学、美学、栄養学、心理学、などの専門家の協力を得て、顧客と施術者が共同体となり、数々の実証データを積み重ねてきました。

総論

顧客の苦しみの自己体験から「博愛」の精神が生まれ、同じ苦しみを持つ人々のために役立ちたいと思う「尊い心」が生まれました。そこから、「顧客」と「施術者」との深い絆が結ばれ、実証例を公開できるに至りました。顧客が自己の苦しみを乗り越えて、他人を慈しむ精神を育む。その精神こそ「美の原点」であると考えます。

※注意点 「安全」と「安心」を念頭に、美容として限られた条件と環境のもとで、顧客により高い満足感を提供し、信頼から尊敬を得られる優秀な施術者を育成する事を心掛けてきました。

《参考資料》

顧客の体験談、回復実績記録写真、食事管理写真(愛媛県エスティック専門学院資料より)

アトピー性皮膚炎及び老人性乾皮症にみられる乾皮症の予防について

(前近畿大学医学部皮膚科・手原正教授の論文より)

愛雅粧エステティック専門学院

TEL 06-6578-7285 <http://www.aigasho.jp>